



# 創造・共感・挑戦

令和3年  
3月16日  
文責 校長  
◆カラー版は、学校HPに掲載◆



【学園教育目標】地域を愛し、自分で考え、自分で行動する子どもの育成

【保護者の皆様へのお願い】 ※熱が37度以上の時は登校を控えてください。  
○生徒の健康状態を把握するため、「健康観察カード」に毎朝の検温結果、健康状態を記入しています。ご家庭でのご協力をお願いします。

## 9年生 卒業おめでとう ～102名の新たな出発～

3月12日（金）第46回卒業証書授与式が行われ、102名の9年生が新たな進路に向かって旅立っていきました。

式は、昨年度同様に規模や時間を縮小し、生徒・保護者のみの参加で行いました。前生徒会長からの「卒業生別れのことば」では、お世話になった先生方や家族への感謝が伝えられ、最後は9年生全員による合唱で式は締めくくられました。

### ～ 校長式辞 「鍵山秀三郎さんの『3つの幸せ』の話」～

★「幸せ」には3つの「幸せ」があります。

1つ目の「幸せ」は「もらう幸せ」です。

皆さんが幼い頃、ご飯を食べさせてもらったり、またお兄ちゃんから勉強を教わったり。そんな時、皆さんはとてもうれしく幸せな気持ちだったと思います。自分以外の誰かが、自分のために何かをしてくれる幸せ、愛される喜びが「もらう幸せ」です。

2つ目の「幸せ」は、「できる幸せ」です。

計算ができるようになったり、サッカーでシュートが打てるようになったり、中学生になってからも様々なことに挑戦し「できる幸せ」をたくさん味わってきたことでしょうか。今まで出来なかった事が自分で出来るようになる幸せ。成長の喜びが「できる幸せ」です。

そして、3つ目の「幸せ」は、「あげる幸せ」です。

困っている人に声をかけ、悲しんでいる人に寄り添うことによって、人は勇気もらい、元気になり、笑顔が戻ってきます。そして、「ありがとう」という気持ちが生まれます。誰かの為に何かをしてあげることで、感じる幸せ。感謝される喜びが「あげる幸せ」です。

この3つ目の『あげる幸せ』こそが一番大きな幸せであり、相手のことを考える“**尊い心**”を持った人のみが味わえることができるそうです。

コロナ禍の中で、多くの学校行事が中止・延期となり、多くの当たり前が奪われた1年間でした。本当は皆さんが一番残念なはずなのに、最後まで最上級生として立派な姿を見せてくれました。何よりもわたしたち教職員が、元気づけられ、皆さんから多くの「幸せ」をもらいました。本当にありがとう。

これからも、多くの人に「幸せ」をあげてください。届けてください。

人として最も大切にすべき心がそこにあると、私は思います。

102名、一人一人の限りない前途に幸多いことを祈念し、式辞といたします。

みなさん、お元気で。

(式辞一部抜粋)



### ～「卒業生わかれの言葉」卒業生代表 杉原 勇治くん（前生徒会会長）～

今まで楽しかった事やきつかった事、それらは全て大切な宝物です。9年生のみんなありがとう。そんな日々を過ごした日の里中学校、最高の仲間たち、先生方ともお別れの日がやってきました。もうここに来ることができないと思うと寂しくてたまりません。それでも私たちは未来に向けて目の前の扉を開け、一歩ずつ歩んで行かなければなりません。この3年間で学び体験したことを、これからの人生に生かし、どんな高い壁でも乗り越えていきます。(一部抜粋)